

## 国際スケート連盟コミュニケーション第2463号

### アイス・ダンス(2022 ISU総会後の更新)

#### 国際ノービス競技会のガイドライン(2022～2023シーズン)

技術規程の一部は、毎年、アイス・ダンス技術委員会より発表されることとなっており、国際ノービス競技会のガイドラインにも適用される。

それ以外の規定は、すべて、特別規程および技術規程に記載されることとなっている。

- 全般
- 1シーズンのみ有効と技術規程で定められている以下の要件である。
  - 国際競技会用パターン・ダンス課題(キー・ポイントおよびキー・ポイント特徴を含む)
  - 国際競技会用パターン・ダンス課題の音楽の要件
  - フリー・ダンスの必須要素
- パターンダンスとフリーダンスの新しいコンポーネンツ表

以下の項目は、コミュニケーション「技術規程の要件(現行版)、2022年7月1日発効」を参照のこと。

- パターン・ダンスおよびフリー・ダンスのGOEに関する採点基準
- 必須要素のレベル基準

トゥブベージェン,  
2022年3月10日  
ローザンヌ,

ISU会長 Jan Dijkema

ISU専務理事 Fredi Schmid

## 1.全般(2022～2023シーズン)

### 参加申し込み

競技会への参加申し込みは、(国際競技会については)ISUメンバーから、(インタークラブ競技会については)地区／クラブから、スケーターの年齢とレベルに応じて行う。地区／クラブはISU加盟メンバーのメンバーでなくてはならない。

カテゴリー	ベーシック・ノービス	インターミディエイト・ノービス	アドバンスト・ノービス
年齢制限	年齢が13歳に達していないこと。	年齢が15歳に達していないこと。	年齢が10歳に達しているが、女子(シングル／ペア・スケート／アイス・ダンス)および男子(シングル)にあっては15歳に達していない、男子(ペア・スケート／アイス・ダンス)にあっては17歳に達していないこと。

ノービスの減点は、ジュニア／シニアの減点の半分とする。具体的な数字は12～13ページの表を参照のこと。

### 役員

- 役員の国際資格要件を除き、役員パネルの構成に関するISU規程第420条第6項が適用される。ただし、どのようなイベントであっても、ジャッジの少なくとも1名とテクニカル・パネルの少なくとも1名、レフェリーは国際資格を有する者でなければならない。国内資格の役員は、21歳から75歳までの年齢であればよい。
- 採点、レフェリー業務、テクニカル・パネルの役割に関しては、ジュニアおよびシニアの国際競技会と同様のISU規程が適用される。
- アドバンスト・ノービスに関してレフェリーおよびテクニカル・コントローラーが作成する報告書については、規程第433条第1項、第2項が適用される。

### ノービスのパターン・ダンスに関する一般的事項

キー・ポイントなしのコール手順: ベーシック・ノービス	シーケンス／セクションの50%を男女とも完了した時点で、レベル・ベースとテクニカル・パネルが認定し、75%を男女とも完了したらレベル1と認定する。 テクニカル・パネルは、転倒の認定とコールも行う。
キー・ポイントありのコール手順: インターミディエイト・ノービスおよび アドバンスト・ノービス	セクション／シーケンスごとにテクニカル・パネルがレベルを判定する。インターミディエイト・ノービスはレベル2まで、アドバンスト・ノービスはレベル3までとする。
パターン・ダンス2課題の大会	各パターン・ダンスの総合点に対し、ベーシック・ノービスは0.5、インターミディエイト・ノービスは0.75、アドバンスト・ノービスは1.0を乗ずる。

### 国際競技会用パターン・ダンス課題の音楽の要件

国際競技会のパターン・ダンス競技には現行のISU公式アイス・ダンス音楽を使用する、ただし、パターン・ダンスの音楽を一定の要件に従ってカップルが用意すべしとアイス・ダンス技術委員会が決定した場合は別であると、規程第707条第5項に定められている。

2021～2022シーズンにおいて、パターン・ダンスの音楽は、すべて、カップルが用意しなければならない。なお、規程第707条第6項に定められているように、カップルは、パターン・ダンスの最後のステップを終了した後、20秒以内に終了の姿勢を取らなければならない。この時間を超えた場合、規程第353条第1項n)に定められた「演技時間」の減点が適用される。上記以外の国際競技会および国際アダルト競技会については、組織委員会が大会要項で発表する。音楽は、パターン・ダンスのリズムに合ったものでなければならない。ボーカルは入っていてもかまわない。テンポは、規定されたシーケンスのあいだ一定でなければならないし、当該パターン・ダンスに定められたテンポ(ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003を参照のこと)に対して4/4拍子のダンスについては±2拍／分、ワルツについては±3拍／分に収まっていなければならない。

## 2. アイスダンス競技会は以下で構成する.

ベーシック ノービス	2つのパターンダンスとフリーダンス
インターミディエット ノービス	2つのパターンダンスとフリーダンス
アドバンスド ノービス	2つのパターンダンスとフリーダンス

### 2.1 パターンダンス

規程711条第1項: 国際ノービス競技会におけるパターン・ダンス課題は, アイス・ダンス技術委員会からISUコミュニケーションによって毎年6月1日以前に発表され, 発表翌年の7月1日から発効する.

#### ベーシック ノービス

以下の中から2つのパターン・ダンスを滑走させる:

- グループ 1: スウィングダンス, ウィローワルツ, タンゴフェスタ
- グループ 2: フォーティーンステップ, ウィローワルツ, タンゴキャナスタ

- 2022-23シーズン: グループ 1
- 2023-24シーズン: グループ 2

#### インターミディエット ノービス

競技会の最初の練習前に, そのシーズンの課題として発表された 2 つのグループのうち, 1つが抽選されるものとする. 各グループには2つのパターン・ダンスが含まれる.

- グループ 1: ロッカーフォックストロット, アメリカンワルツ
- グループ 2: フォーティーンステップ, タンゴ
- グループ 3: フォックストロット, ヨーロピアンワルツ
- グループ 4: キリアン, スターライトワルツ

- 2022-23シーズン: グループ 1とグループ2
- 2023-24シーズン: グループ2とグループ3

#### アドバンスド ノービス

以下の2つのパターン・ダンスを滑走させる:

- 2022-23シーズン: ウェストミンスターワルツ, アルゼンチンタンゴ
- 2023-24シーズン: スターライトワルツ, パソドブレ

## 2.2 パターン・ダンス(2022～2023シーズン)

全ノービス	<p>パターン・ダンスは、リストされた順番で滑る。また、最初のシーケンスは、ジャッジ席の前で行わなければならない。これに違反した場合、レフェリーが演技を止め、正しい位置から再スタートするようカップルに指示する。減点はない。ダンスの第1ステップは、小節の第1拍でなければならない。</p> <p>パターン・ダンスの音楽は、すべて、カップルが用意しなければならない。ISU公式アイス・ダンス音楽(1番から5番)でもよい。</p> <p>公式練習では、いずれのパターン・ダンスについても、カップルが選んだ曲を流す(最初のパターン・ダンスを各カップルが自分の曲に合わせて滑りおわったら、2番目のパターン・ダンスを各カップルが自分の曲に合わせて滑る)</p> <p>ウォームアップは3分、6カップルまでとする。最初の30秒は音楽なし、その後の2分30秒はISU公式アイス・ダンス音楽の6番目の曲を流すものとする。</p>						
		パターン・ダンス	シーケンス数	音楽	パターン	コンポーネント/係数	ウォームアップ音楽
ベーシック・ノービス	パターン・ダンス1	スウィングダンス	2シーケンス	4/4拍子のフォックストロット、テンポは4拍子25小節(100拍/分)±2拍/分	セット・パターン	タイミング	ISU公式アイス・ダンス音楽フォックストロットの6番目(最後)
キー・ポイントなし、コールはレベル1まで	パターン・ダンス2	ウィローワルツ	2シーケンス	3/4拍子のワルツ、テンポは(ヨーロピアン・ワルツと同じ)3拍子45小節(135拍/分)±3拍/分	セット・パターン	プレゼンテーション スケーティングスキル	ISU公式アイス・ダンス音楽ヨーロピアン・ワルツの6番目(最後)
	パターン・ダンス3	タンゴフェスタ	3シーケンス	4/4拍子、テンポは4拍子27小節(108拍/分)±2拍/分	セット・パターン	係数:0.7	ISU公式アイス・ダンス音楽ブルースの6番目(最後)
インターミディエイト・ノービス	グループ1 パターン・ダンス1	ロッカーフォックストロット	4シーケンス	4/4拍子のフォックストロット、テンポは4拍子26小節(104拍/分)±2拍/分	セット・パターン	タイミング	ISU公式アイス・ダンス音楽ロッカーフォックストロットの6番目(最後)
キー・ポイントあり、コールはレベル2まで	グループ1 パターン・ダンス2	アメリカンワルツ	2シーケンス	3/4拍子のワルツ、テンポは3拍子66小節(198拍/分)±3拍/分	セット・パターン	プレゼンテーション スケーティングスキル	ISU公式アイス・ダンス音楽アメリカン・ワルツの6番目(最後)
	グループ2 パターン・ダンス1	フォーティーンステップ	4シーケンス	2/4拍子または4/4拍子、2拍子56小節または4拍子28小節(112拍/分)±2拍/分	セット・パターン	係数:0.7	ISU公式アイス・ダンス音楽フォーティーンステップの6番目(最後)
	グループ2 パターン・ダンス2	タンゴ	2シーケンス	4/4拍子、テンポは4拍子27小節(108拍/分)±2拍/分	オプション・パターン		ISU公式アイス・ダンス音楽タンゴの6番目(最後)
アドバンスト・ノービス	パターン・ダンス1	ウェストミンスター・ワルツ	2シーケンス 4セクション ステップ1～10と11～22	3/4拍子のワルツ、テンポは3拍子54小節(162拍/分)±3拍/分	オプション・パターン	タイミング プレゼンテーション スケーティングスキル	ISU公式アイス・ダンス音楽ウェストミンスター・ワルツの6番目(最後)
キー・ポイントあり、コールはレベル3まで	パターン・ダンス2	アルゼンチンタンゴ	2シーケンス	4/4拍子、テンポは4拍子24小節(96拍/分)±2拍/分	セット・パターン	係数:0.93	ISU公式アイス・ダンス音楽アルゼンチンタンゴの6番目(最後)

### 2.3 パターン・ダンスに関するステップ数の割合(2022～2023シーズン)

パターン・ダンスおよびパターン・ダンス要素に関するステップ数の割合(2022～2023シーズン)										
カテゴリー	ダンス		シーケンス/ セクションあた りの秒数	所定のシーケンス /セクション数	シーケンス/セクションあ たりのステップ数	ステップ数				
						10%	25%	50%	75%	90%
ベーシック・ ノービス	スウィングダンス	98～102拍/分	18.8～19.6	2シーケンス	30	3	8	15	23	27
	ウィローワルツ	132～138拍/分	23.4～24.6	2シーケンス	22	2	6	11	17	20
	タンゴフェスタ	106～110拍/分	17.5～18.1	3シーケンス	16	2	4	8	12	14
インターミディ エイト・ノービ ス	ロッカー フォックストロット	102～106拍/分	15.8～16.5	4シーケンス	14	1	4	7	11	13
	アメリカン・ ワルツ	195～201拍/分	28.8～29.4	2シーケンス	16	2	4	8	12	14
	フォーティーンス テップ	110～114拍/分	10.5～10.9	4シーケンス	14	1	4	7	11	13
	タンゴ	106～110拍/分	28.4～29.4	2シーケンス	22	2	6	11	17	20
アドバンス ト・ノービ ス	ウェストミンスター・ ワルツ	159～165拍/分	28.4～29.5	2シーケンス/4セクション セクション1: ステップ1～10 セクション2: ステップ11～22	10 12	1 1	3 3	5 6	8 9	9 11
	アルゼンチンタン ゴ	94～98拍/分	34.3～35.7	2シーケンス	31	3	8	16	23	28

## 2.4パターン・ダンスのキー・ポイントとキー・ポイントの特徴(2022～2023シーズン)

### ベーシック・ノービス

パターン・ダンスについては、キーポイントの記載はなく、レベル1までを評価する。

ジャッジはGOEでパターンダンスを評価する。

#### ベーシック・ノービスのパターン・ダンスに適用するレベルの特徴

レベルB	レベル1
両パートナーともパターン・ダンスの50%を滑走した	両パートナーともパターン・ダンスの75%を滑走した

### インターミディエイト・ノービス

#### インターミディエイト・ノービスのパターン・ダンスに適用するレベルの特徴

レベルB	レベル1	レベル2
両パートナーともパターン・ダンスの50%を滑走した	両パートナーともパターン・ダンスの75%を滑走した	キー・ポイント1つが正しく実行された

### ロッカー・フォックストロット

各シーケンス (RF1Sq, RF3Sq)	キー・ポイント 女性のステップ11,12(LFO CIMo,RBO)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.CIMo:正確なターン 3.CIMo : フリー・フットの正確な配置(プレースメント)
各シーケンス (RF2Sq, RF4Sq)	キー・ポイント 男性のステップ11,12 (LFO CIMo,RBO)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.CIMo:正確なターン 3.CIMo : フリー・フットの正確な配置(プレースメント)

## アメリカン・ワルツ

AW1Sq	キー・ポイント 女性のステップ7～9 (LBO-SwR,RFO-Sw3,LBO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.正確なターン
AW2Sq	キー・ポイント 男性のステップ1～3 (RFO-Sw3,LBO-SwR,RFO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.正確なターン

## フォーティーンステップ

各シーケンス (FO1Sq, FO3Sq)	キー・ポイント 女性のステップ1～4 (RBO,LBI-Pr,RBO,LBO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.プログレッシブ: シャッセになってない
各シーケンス (FO2Sq, FO4Sq)	キー・ポイント 男性のステップ1～4 (LFO,RFI-Pr,LFO,RFO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.プログレッシブ: シャッセになってない

## タンゴ

TA1Sq	キー・ポイント 男性のステップ7 (XF-RFO-Rk)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.正確なターン
TA2Sq	キー・ポイント 女性のステップ22 (RFI3)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.正確なターン

## アドバンスト・ノービス

### アドバンスト・ノービスのパターン・ダンスに適用するレベルの特徴

レベルB	レベル1	レベル2	レベル3
両パートナーともパターン・ダンスの50%を滑走した	両パートナーともパターン・ダンスの75%を滑走した	キー・ポイント1つが正しく実行された	キー・ポイント2つが正しく実行された

## ウェストミンスター・ワルツ

各セクション ステップ1～10 (WW1Sq1Se & WW2Sq1Se)	キー・ポイント1 女性のステップ5～7 (LFI OpMo, RBI, LBO)	キー・ポイント2 男性のステップ5～7 (LFI OpMo, RBI, LBO)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.正確なターン 3.フリー・フットの正確な配置(プレースメント)	1.正確なエッジ 2.正確なターン 3.フリー・フットの正確な配置(プレースメント)
各セクション ステップ11～22 (WW1Sq2Se & WW2Sq2Se)	キー・ポイント1 女性のステップ15～16 (RFI3, CR-LBO)	キー・ポイント2 男性のステップ22 (RFOI-SwR)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.正確なターン	1.正確なエッジ 2.フリー・レッグの正確なスウィング

## アルゼンチンタンゴ

各シーケンス (AT1Sq,AT2Sq)	キー・ポイント1 男性のステップ13～15 (CR-LBO,RFO3,LBO)	キー・ポイント2 女性のステップ23～24 (LFO Sw-Tw1(カウント4and1),RFO)
キー・ポイントの特徴	1.正確なエッジ 2.正確なターン	1.正確なエッジ* 2.正確なターン

注: 次のステップへのプッシュ/トランジションを準備するために、ステップの最後のビート内でエッジを変更することは許可されている。

\* クロス・ロール (フォワード/バックワード) - 要件/説明: ロールでは、まず、フリー・フットがスケーティング・フットに横から近づいていき、そのまま、氷に触れているスケーティング・フットの脇を通過して次なるアウトサイド・カーブに入る。このとき、体重は、ロールする動きになるように、アウトサイド・カーブから新しいアウトサイド・カーブへと移動する。その後は、アウトサイド・エッジに乗っていないなければならない。

\*\*クロス・ロールでは、フリー・フットをスケーティング・ブレード/フットのすぐ横を通し、その前あるいは後ろで新たなスケーティング・ブレード/フットとして氷面に置く。新たなスケーティング・ブレードを氷面に置く際、アウトサイド・エッジとなっている必要はない。

注: 次のステップへのプッシュ/トランジションを準備するために、ステップの最後の1/2拍内でエッジを変更することは許可される。(キーポイントの例: 1AT-キーポイント3と4, 2AT-キーポイント4)

注: ステップ#23 は左アウトサイドエッジになり、Tw1で時計回りに進む「ツイズルのような動き」で終わる。女性の体は連続的に1回転するが、スケーティング・フットが1回転することは必須ではなく、その後にRFOで進むステップを踏む。



### 3. フリー・ダンスの必須要素：ベーシック、インターミディエイト、アドバンスト・ノービス

カテゴリー	ベーシック・ノービス	インターミディエイト・ノービス	アドバンスト・ノービス
レベル	レベル1までコール	レベル2までコール	レベル3までコール
リフト	—	ショート・リフト1回まで  7秒／回以下 リフトの種類はストレート・ライン、カーブ、 ステーションナリー、ローテーションナルから選択	ショート・リフト1回まで  7秒／回以下 リフトの種類はストレート・ライン、カーブ、 ステーションナリー、ローテーションナルから選択
ダンス・スピン	1	1	1
	・ダンススピン - 2022～23シーズンの仕様 ダンス・スピン - カップルによるスピン。ホールドは問わない。回転軸共通、片足で、移動しないこと。足換えはパートナーの一方あるいは両方ともが行ってよい。（足換えは任意）		
ステップ・シーケンス	—	—	スタイルBひとつ サーキュラー、サーペンタイン、ミッドライン、ダイアゴナル から選択 ホールド状態で行うこと ステップ・シーケンスは、女性のステップ・シーケンスレ ベルと男性のステップ・シーケンスレベルの基礎値を合 計し、GOEを適用する形で、全体をまとめて評価する。
シーケンシャル・ ツイズル	1	1	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パートナーそれぞれが、2回以上、ツイズルをすること。最初のツイズルと2番目のツイズルの間のどこかで、パートナー同士がコンタクトしてはならない。</li> <li>・ 最初のツイズルと2番目のツイズルのつながりは1ステップまでとする（ツイズル間で両足をつき、プッシュおよび／または体重移動をする動作は、毎回、1ステップとみなす）。</li> </ul> <p>シーケンシャル・ツイズル・セットは、女性のセット・オブ・ツイズル・レベルと男性のセット・オブ・ツイズル・レベルの基礎値を合計し、GOEを適用する形で、全体をまとめて評価する。</p>		
コレオグラフィック 要素	<b>コレオグラフィック要素2種類</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 片方は、コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンスでなければならない</li> <li>かつ</li> <li>・ もうひとつは、以下のいずれかでなければならない <ul style="list-style-type: none"> <li>コレオグラフィック・リフト</li> <li>コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント</li> <li>コレオグラフィック・ツイズリング・ムーブメント</li> <li>コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント</li> </ul> </li> </ul>		以下から選んだ異なるコレオグラフィック要素2種類  コレオグラフィック・リフト コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント コレオグラフィック・ツイズリング・ムーブメント コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンス

注：フリー・ダンスにおけるスタイルBステップ・シーケンスの仕様（2022～2023シーズン）

逆行は、1回まで許される。ただし、2小節以内とする。

許されないこと：ストップ、ループ、腕を完全に伸ばしたハンド・イン・ハンド・ホールド、両手間隔および／または5秒を超えるセパレーション

ステップ・シーケンス（スタイルB）のパターンは、選んだパターンの基本形状やそれらしさが維持されていなければならない。

注）ベーシック・ノービス、インターミディエイト・ノービスのフリー・ダンスにおいて、コレオグラフィック要素の1番目でも2番目でもコレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンスが行われなかった場合、2番目のコレオグラフィック要素は識別されるが認定はされず無価値となる。その後、コレオグラフィック要素としてコレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンスが行われた場合、それは識別もされない。

### 3.1 コレオグラフィック要素の定義

- **コレオグラフィック・リフト**: 3秒以上、10秒以内のダンス・リフト。

ただし、以下の要件を満たすこと。

- 必須のダンス・リフトがすべて終わったあとに行う。

- **コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント**: プログラムのどこかで行われる回転動作で、ホールドしたまま両パートナーとも続けて2回転以上するもの。

ただし、以下の要件を満たすこと。

- 片足で行う、両足で行う、パートナーの一方が2回転未満の間持ち上げられている、あるいは、これら3つの組み合わせ。
- 回転軸は共通であること。軸の移動はかまわない。

- **コレオグラフィック・ツイズリング・ムーブメント**: 必須のセット・オブ・ツイズルを行った後に行われるツイズル動作で2つの部分からなるもの。

ただし、以下の要件を満たすこと。

- 2つの部分とも: 片足で行う、両足で行う、またはこれらの組み合わせ
- 最初の部分: 2人同時に続けて2回転以上し、かつ、2人とも移動しなくてはならない(1箇所に留まらないこと)
- 2つ目の部分: パートナーの少なくとも一方は続けて2回転以上しなくてはならない。また、ツイズリング・ムーブメントの1つ目から2つ目までは3ステップ以内でなくてはならない。移動は、パートナーの一方または両方とも、1箇所に留まるか、移動するか、またはこれらの組み合わせでよい。

- **コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント**: プログラムのどこで行ってもよい。両パートナーとも、氷上をスライドしていくスライディング動作を行う。

ただし、以下の要件を満たすこと。

- 両パートナー同時に体のどこかを動かし、継続的に制御されたスライディングを2秒以上にわたって行う。コレオグラフィック・スライディング・ムーブメントの始まりと終わりは、2人同時でなくともよい。
- イン・ホールド、ノット・タッチング、その組み合わせのいずれでもよく、また、回転してもよい。
- この要素中に制御されたスライディングが両膝など体のどこかで行われても、テクニカルパネルは、これを転倒や違反動作とみなさない。
- スライディング動作は、両膝をついたり、氷上に座ったり横たわったりした状態で止まって終わることができない。その場合は転倒や違反動作として認定され、減点が適用される。
- 2人同時に基本のランジ動作を行っても、それは、コレオグラフィック・スライディング・ムーブメントとみなさない。

- **コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンス**

ただし、以下の要件を満たすこと。

- プログラムのどこで行ってもよい。
- ショート・アクシス周辺(ショート・アクシスから10メートル以内)に位置しなければならない。また、フェンスからフェンスへ進まなければならない。両サイドともフェンスまで2メートル以内にパートナーのいずれかが入れば、フェンスからフェンスまでの要件は満たしたものとみなす。
- ホールドはしてもなくてもよい。
- 手で氷に触れてもよい。
- 制御された動きで体のどの部分でも氷に触れることができるのは、アドバンスドノービスに限られる。
- パートナー間の距離は腕4本分(4メートル)まで許される。

### 3.2 フリー・ダンスに関する一般的事項

カテゴリー	ベーシック・ノービス	インターミディエイト・ノービス	アドバンスト・ノービス
フリー・ダンスの演技時間	2分(±10秒)	2分30秒(±10秒)	3分(±10秒)
ウォームアップの時間	フリー・ダンス(全ノービスカテゴリー)－3分間、最大5カップル <b>演技時間:</b> レフェリーによる減点: 5秒までの過不足ごとに-0.5		
コンポーネント係数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンポジション(構成)</li> <li>・ プレゼンテーション(演技)</li> <li>・ スケーティングスキル(技術)</li> </ul> 係数:1.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンポジション(構成)</li> <li>・ プレゼンテーション(演技)</li> <li>・ スケーティングスキル(技術)</li> </ul> 係数:1.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジョン(構成)</li> <li>・ プレゼンテーション(演技)</li> <li>・ スケーティングスキル(技術)</li> </ul> 係数:1.33
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラシック音楽を含めすべての音楽は、興味深く、かつ色彩豊かで楽しめ、さらにはさまざまな雰囲気や盛り上がりのあるダンス・プログラムとなるように編集、編曲されていなければならない。</li> <li>・ 少なくとも1回、テンポ／リズムおよび表現がはっきり変化しなければならない。この変化は徐々にでも急激にでもかまわない。</li> <li>・ カップルのスケーティング・スキルと技術的な能力に適していなければならない。</li> <li>・ ボーカル付きでもよいが、スポーツ種目であるアイス・ダンスにふさわしいものでなくてはならない。</li> <li>・ リズミカルなビートとメロディの両方が聞き取れるか、あるいは、リズミカルなビートのみが聞き取れるものでなければならず、メロディしか聞こえないものであってはならない。</li> <li>・ プログラムの最初あるいは最後の10秒間は、リズミカルなビートが聞こえなくてもよい。</li> <li>・ プログラムの途中、10秒以下であれば、リズミカルなビートが聞こえなくてもよい。</li> </ul>		
ストップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最初の動きで計時が開始された後、カップルは、10秒を超えて1箇所に留まってはならない。</li> <li>・ プログラム中、1回5秒以下であれば、何回でも、完全なストップを行うことができる。</li> </ul>		
分離	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ つなぎのフットワークや動作を行うための分離に回数の制限はない。</li> <li>・ セパレーションで許される距離は両手間隔以内である(コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンスは例外)。</li> <li>・ セパレーションの時間は毎回5秒以内とする(必須要素を除く)。</li> <li>・ 演技の最初および／または最後におけるセパレーションは10秒まで許される。距離に制限はない。</li> </ul>		
手で氷に触れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 許されない(コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント中およびコレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンス中を除く)</li> </ul>		
コスチュームおよび小道具	<ul style="list-style-type: none"> <li>－ 節度と品位のあるもので、過度に肌を出したように見えるものであってはならず、スポーツ競技会に適したものでなければならない。芝居じみていたり、けばけかしいデザインのものは許されない。ただし、選んだ音楽の特徴を反映する衣装とすることはかまわない。</li> <li>－ 男性は下まで長いズボンを着用しなければならない。</li> <li>－ 女性はズボン着用でもよい。</li> <li>－ アクセサリーや小道具は許されない。</li> </ul>		
			<b>音楽の要件:</b> レフェリーとジャッジによる減点:プログラム全体に対して-1.0  <b>振り付けに関する制限</b>  要素外の違反に適用する。  レフェリーとジャッジによる減点:プログラム全体に対して-0.5
			コスチュームおよび小道具: レフェリーとジャッジによる減点 プログラム全体に対して-1.0

#### 4. 責任者 — ID減点表 — ノービス(2022～2023シーズン)

内容	罰則	責任者
演技時間違反 - フリー・ダンス - 3.2 フリー・ダンスに関する一般的事項による	5秒までの過不足ごとに0.5	レフェリー***
<b>違反要素／違反動作／違反ポーズ</b> — 規程第704条第21項による(メンバーの郵便投票による承認待ち) ISUコミュニケーションで別段の定めがないかぎり、助走部や最終部も含むリズム・ダンス、フリー・ダンス、パターン・ダンスにおいて、以下のような動作および／またはポーズは違反となる。 a. パートナーの頭に座る。 b. パートナーの肩に立つ。 c. リフトされるパートナーが倒立開脚姿勢をとる(両大腿部の保持角度が45度を超える)。 d. 完全に伸ばした腕のみで、または手／腕の補助なしで、ブレード／スケート靴や脚を持ち、リフトするパートナーがリフトされるパートナーを振り回す。 e. リフトされるパートナーがリフトするパートナーの首に足だけを絡ませただけの形で、手／腕を補助にすることなくリフトするパートナーがリフトされるパートナーを振り回す。 f. 腕が完全に伸びており、リフトするパートナーのリフトする手／腕とリフトされたパートナーの身体との接触点がリフトするパートナーの頭より継続的に高い位置にある(補助の腕は、完全に伸びた状態で継続的に頭より高い位置にあってもよい)。 g. 1回転を超えるジャンプ。(ノービスにおいてジャンプによる入りや出はできない) h. 氷上に横たわる。 確立(継続)しない、あるいは、姿勢を変更するためにのみ用いる場合、a)項～f)項のポーズをさっと経過することは許される。	違反ごとに-1.0	<b>テクニカル・パネル**</b> テクニカル・スペシャリストが特定し、テクニカル・コントローラーが認定あるいは訂正して減点を行う。ただしテクニカル・コントローラーによる訂正要求に両テクニカル・スペシャリストとも賛同しない場合は、テクニカル・スペシャリストとアシスタント・テクニカル・スペシャリストによる当初の決定が維持される。どの要素であってもその実行中に違反動作があれば減点が適用され、その要素がレベル1以上の要件を満たしている場合はレベル1とコールされる。上記以外の場合、レベルBの要件が満たされていればレベルB、そうでない場合はノーレベルとコールされる。
演技時間違反 — パターン・ダンス — 第706条第6項による	パターン・ダンスとして定められたステップが最後まで終わった後、終わりの動作/姿勢を取るために許された時間を5秒まで超過するごとに-0.5	レフェリー***
衣装／小道具の違反 — 規程第501条第1項による	プログラム全体に対して-0.5	レフェリー*** + ジャッジ*
衣装／装飾品の一部の氷上落下 — 規程第501条第1項による	プログラム全体に対して-0.5	レフェリー***
<b>転倒</b> — パートナーの1人が転倒するごとに — パートナーの両方が 転倒すること 転倒とは、「スケーターがコントロールを失い、その結果、体重の過半が身体のブレード以外の部分、たとえば片手または両手、片膝または両膝、背、片尻または両尻、腕の一部によって氷上に支えられた状態」と定義されている(規程第503条第1項)。	-0.5 -1.0	テクニカル・パネル**
演技開始の遅れ — 規程第350条第2項による — 1秒から30秒遅れて開始した場合	-0.5	レフェリー***

内容	罰則	責任者
<b>10秒を超える演技の中断</b> 10秒超, 20秒以下 - 20秒超, 30秒以下 - 30秒超, 40秒以下 中断とは、スケーターが演技をやめた瞬間から再開した瞬間までの時間である(規定第503条第2項)。	<b>-0.5</b> <b>-1.0</b> <b>-1.5</b>	<b>レフェリー***</b> 不運な条件を遅滞なく解消できる場合、競技者はレフェリーに報告する必要がなく、音楽の演奏も継続する。競技者が演技を40秒以内に再開した場合、レフェリーは第353条第1項n)に定められた減点を適用する。(ノービスは元の半分の減点)
<b>3分以内であれば中断箇所から再開してよい範囲の演技の中断</b> (規程第515条第3項b) この減点数値は規程第353条第1項n)に定められた標準的なものではないので、レフェリーは、毎回、システムを操作する担当者に具体的な指示を出すとともに、入力が正しいことを確認しなければならない。	<b>-2.5</b>	<b>レフェリー***</b> 競技者が40秒以内に演技を再開しなかった場合、レフェリーは音楽を止める指示を出し、競技者に追加の3分を与える。競技者が追加の3分以内に演技を再開した場合、レフェリーは第353条第1項n)に基づき5.0の減点を適用する。(ノービスは元の半分の減点)この減点は追加の3分に先立つ40秒までの中断の分を含む。
<b>余分な要素</b> 余分な要素—ステップ・シークエンス中のリフトまたはスピン(RoLi+ExEl, Sp+ExElなど) 追加の要素—フリー・ダンスのウェルバランス構成に従わないとしてコンピューターが検出したもの(CuLi*など)。	<b>要素ごとに-0.5</b> <b>要素は無価値となる</b>	<b>コンピューターが減点を処理する。</b> <b>テクニカル・コントローラーがコールの認定や訂正を行うとともに、減点の適用を確認する。</b>
<b>振付制限違反</b> <b>フリー・ダンス—</b> 第710条第1項f)(セパレーション), h)(ストップ), j)(手で氷に触れる)による(ISUコミュニケーションで別途指定された場合を除く)	<b>プログラム全体に対して-0.5</b>	<b>レフェリー*** + ジャッジ*</b>
<b>許容時間を超えるリフト —</b> 7秒(ショート・リフト), 10秒(コレオ・リフト)を超過したリフトごとに	<b>リフトごとに-0.5</b>	<b>レフェリー***</b>
<b>音楽要件 —</b> 規程第707条第5項による (リズム): 音楽は、パターン・ダンスのリズムに合ったものを選ばなければならない ISU公式アイス・ダンス音楽から選んでもよいが、その場合、選んでもよいのは1番から5番の曲のみである。	<b>プログラム全体に対して-1.0</b>	<b>レフェリー*** + ジャッジ*</b>
<b>テンポ指定 —</b> 規程第707条第5項による (テンポ): テンポは、規定されたシークエンスのあいだ一定でなければならないし、当該パターン・ダンスに定められたテンポ(ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003およびISUウェブサイトで公開されているベーシック・ノービス向けパターン・ダンスのパターンとその説明を参照のこと)でなければならない。	<b>プログラム全体に対して-0.5</b>	<b>レフェリー***</b>
<b>* レフェリー+ジャッジ:</b> 全ジャッジとレフェリーによるパネルの多数決により減点を適用する。意見が <b>50:50</b> に割れた際は減点されない。減点は、ジャッジとレフェリーがボタンを押すと適用される。		
<b>** テクニカル・パネル:</b> テクニカル・スペシャリストが特定し、テクニカル・コントローラーが認定あるいは訂正して減点を行う。ただしテクニカル・コントローラーによる訂正要求に両テクニカル・スペシャリストとも賛同しない場合は、テクニカル・スペシャリストとアシスタント・テクニカル・スペシャリストによる当初の決定が維持される。		
<b>***</b> この減点数値は規程第353条第1項n)に定められた標準的なものではないので、レフェリーは、毎回、システムを操作する担当者に具体的な指示を出すとともに、入力が正しいことを確認しなければならない。		

## 5. 「JUDGES DETAILS PER SKATER」表で用いる記号の説明(ノービス)

記号	アクション	説明
<	= レベルを1段階引き下げる。PDで4拍以内の中断があった場合。 (インターミディエイトおよびアドバンスのみ)	PDで4拍以内の中断があった場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルは1段階下がる。「Judges Details per Skater」の表には「<」と記載し、4拍以内の中断があったことを示す。 アドバンス・ノービスの例: Yes, Yes — レベル3からレベル2に引き下げ インターミディエイト・ノービスの例: Yes — レベル2からレベル1に引き下げ
<<	= レベルを2段階引き下げる。PDで4拍を超える中断があった場合。 (インターミディエイトおよびアドバンスのみ)	PDで4拍を超える中断があった場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルは2段階下がる。「Judges Details per Skater」の表には「<<」と記載し、4拍を超える中断があったことを示す。 アドバンス・ノービスの例: Yes, Yes — レベル3からレベル1に引き下げ インターミディエイト・ノービスの例: Yes — レベル2からレベルBに引き下げ
!	= ノーレベルとする。PDで50%を超える中断があった場合。	PDで50%を超える中断があった場合、テクニカル・スペシャリストはキー・ポイントを実行されたとおりコールするとともに、そのパターン・ダンスの名前と「ノー・レベル」に加え、「アテンション」とコールする。「Judges Details per Skater」の表には「!」と記載し、パターン・ダンスの50%未満しか完了されなかったことを示す。例: Yes, Yes, レベル3をノーレベルにする
>	= -0.5点減点。ダンス・リフトの制限時間超過。	ダンス・リフトが許された時間より長かった場合、レフェリーが-0.5点の減点を適用する。リフトの長さは、レフェリーが電子的に確認する。
ExEI	= -0.5点減点。「余分な要素」に対して。	ステップ・シーケンス中にリフトやスピンをを行った場合 (RoLi+ExEI, Sp+ExEIなど)、-0.5点の減点が適用される。
*	= -0.5点減点。要件に合わない「追加の要素」に対して。	フリー・ダンスのウェルバランス要素以外の追加の要素が行われた場合、-0.5点の減点が適用される。
F	= 要素中に転倒した場合、転倒ごと・パートナーごとに-0.5点減点	要素中に転倒があった場合、テクニカル・スペシャリストが要素中の転倒と認定し、該当する“Fall in Element”ボタンをデータ・オペレーターが押す。
S	= レベルを1段階引き下げる。SqTwでホールド／コンタクト／タッチがあった場合。	シーケンシャル・ツイズル (FD) 中にパートナー同士がホールド／コンタクト／タッチする瞬間があった場合、レベルが1段階下がる (SqTwでパートナーごとに)。